

日 時 令和7年6月18日(水) 10:00～12:00

場 所 しんじゅく多文化共生プラザ

出席委員 小林委員、毛受委員、伊藤委員、郭委員、長谷部委員、松田委員、岩野委員、ゼヤー委員、楊委員、李委員、江副委員、金委員、タイン委員、藤岡委員、鈴木委員、武田委員、立川委員、原田委員、マッラ委員、センブ委員、井上委員、塚本委員、南委員、23名

欠席委員 申委員、コチュ委員、叔委員、陳委員、ドゥラ委員、朴委員、宗像委員、守重委員、山口委員 9名

1 開会

2 地域における交流事例について

事務局からの説明をもとに、委員から意見をいただいた。

- ・大久保地域センターでは、毎年、大久保五月まつりを開催している。韓服の試着や、ネパールの踊りなど、外国の文化を取り入れている。
- ・大久保五月まつりは、地域の人たちがたくさん集まってくる。日本の子どもたちも外国の文化に自然に触れることができ、これはすごくいいものだと思っている。
- ・新大久保インターフェスでは、日本の子どもたちが意外と集まってこなかった。小学校に案内に行ったが、町会が主催なら安心して行けるという話があった。チラシだけ配っても参加してもらえない。大きな課題である。
- ・日本の子どもたちが外国の子どもたちと仲よくなって、友達になって、お互いに理解し合う絆をつくっていくようなことをやりたい。
- ・子どもは、親や友達がイベントに行くと、一緒に行くと思う。
- ・イベントに参加したくても、1、2か月先までスケジュールを組んでいて参加できない人が多い印象がある。
- ・大久保五月まつりで、韓服の試着を開催した。ただ着るだけではなく、韓国の礼儀や挨拶などを行った。
- ・韓国の文化を知ってもらいたい。日韓で仲良くなるとよいと思う。
- ・韓服の試着では乳幼児から高齢者までの方に体験していただき、とても喜んでいただいた。
- ・ネパール人は年に何回かフェスティバルをやっていて慣れている。新大久保インターフェスでは、短い準備期間で頑張って準備した。

3 事業検証・振り返り

事務局からの説明をもとに、委員から意見をいただいた。

- ・情報提供では、ぜひT i k T o kを検討するとよい。
- ・学生に一番使うSNSを聞いたところ、インスタグラムが圧倒的に多かった。
- ・最近のミャンマー人は、SNSでテレグラムを使っている。
- ・病院や銀行、入管の予約など、最近はインターネットで行うようになっている。単なる日本語学習だけでなく、デジタルと日本語をテーマに勉強会をやったことがあり効果があった。
- ・高齢者はインターネットが使えなかったり、スマートフォンを持っても電話しかできない人がいる。
- ・新宿区は留学生が多い。SNSでの情報発信だけでなく、日本語学校から学生たちに情報を流すとよい。
- ・都や区が日本語学校に補助を出して、日本語を安く勉強できる場を作るとよい。
- ・日本語学校や専門学校などのメーリングリストを作って、区からの情報を発信するとよい。

- ・韓国には外国人の子どもを支援するセンターがあり、通訳が学校や家に来てくれる。国等の補助金や支援で運営している。
- ・しんじゅく多文化共生プラザは、外国人だけじゃなくて、地域の日本人をどうやって巻き込めるかという視点が大事と思う。
- ・イベントは、関心の無い人にも振り向いてもらう必要がある。
- ・大きなイベントだけではなく、小さなイベントをいくつも継続的にやってもいいと思う。
- ・日本語学習や交流は、対面で行うことがすごく大事と思うが、今の時代では、交通費と時間をかけて行っているのは、結構、ハードルが高くなっている。
- ・イベントに大人が参加して楽しんでいると、子どもも自然と参加するようになると思う。
- ・しんじゅく多文化共生プラザに学生のインターンを置いて、SNSなど手伝ってもらえるとよい。
- ・情報は発信するだけでなく、どのように人へつなげていくかが大事である。
- ・日本語学校に通っている人や、時間に余裕のある人は、日本語を学習することができる。どこにも行けない人にどのように日本語学習の情報を知らせるか考えないといけない。
- ・留学生がイベント等のボランティアとして参加する仕組みをつくれればよい。そうすれば、留学生たちがSNSで発信してくれる。
- ・個人でも企業でも何か役に立ちたいという考えを持っていると思う。
- ・日本語を教わっている子どもと親、そして教えているボランティアがネットワークでつながるとよいと思う。
- ・自分は地域で野菜を作っている。地域の日本人と外国人と一緒に野菜を作れば交流できる。
- ・イベントを見るお客さんではなく、踊りなどの発表者としても参加するするとよい。
- ・イベントのチラシを日本語学校とか専門学校に配布するとよい。
- ・町会のごみ拾いに日本語学校の生徒が参加しており、上手にごみを拾ってまじめにやっている。
しかし、別の日本語学校の生徒は携帯を持ったまま歩いたり、食べ歩きをしたりマナーが良くなかった。
- ・多文化連絡会では意見交換だけでなく、ミニ講演会をやっていることはよい。連絡会だけでなく広く区民が参加できるセミナーがあってもよい。

4 その他

事務局から第4回会議の日程について説明があった。

5 閉会